

第三章 そ の 他

第 1 節 参考資料

1 おおつ健康フェスティバル

高齢社会を迎えた今日、健康で生きがいをもって、人生を豊かに自分らしく、明るく暮らすことができる地域社会を実現するため、市民一人一人が健康を振り返り、あるいは体験を通して健康づくりを見直すきっかけとなることを目的として、平成 3 年から毎年実施している。

※令和 2 年度から令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止。

- (1) 日 時 令和 5 年 10 月 29 日（日）10 時～15 時
- (2) テーマ のばそう健康寿命ーとりもどそう元気と笑顔ー
- (3) 主 催 おおつ健康フェスティバル実行委員会
- (4) 場 所 明日都浜大津
- (5) 内 容

- ・式典、健康シールラリー
- ・ステージイベント

- ・健康トークショー

「健康と身体を考えるートップアスリートの経験からー」

出演：スポーツ健康科学博士 順天堂大学スポーツ健康科学部准教授 室伏 由佳

- ・大津市健康推進連絡協議会による活動発表「健康寿命をのばそう！」
- ・大津鍼灸マッサージ師会による活動発表「教えます！病に効くツボ」
- ・事業内容

がん予防、骨密度測定、食育啓発、血流・血管年齢測定、マッサージ体験 など

2 研究及び外部での講演等の報告

【研究報告】

タイトル	学習障害が疑われる児の乳幼児期における支援経過の検討
報告学会名	第 54 回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	子ども発達相談センター ○畠山優香、西川志穂、土田彩織、龍田直子
<要旨> 不登校や不適応行動といった二次的な問題を呈して初めて学習障害（疑いを含む）が把握される子どもは少なくない。子ども発達相談センターで発達相談を実施した、5 歳児～小 6 を対象に、乳幼児健診や発達相談歴を調査したところ、読み書きに関わる力は 4、5 歳以降に発達するため、従来の乳幼児健診（3 歳 6 か月児健診が最終）での把握は難しく、就学前後に読み書きスクリーニングなどを実施して早期発見と対応につなげる仕組みが必要と考えられた。	

タイトル	大津市東部地域における外国人母子への取組～誰もが安心して子育てができる地域を考える～
報告学会名	第 54 回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	保健総務課 ○加藤日向子、荒川遥、西川幸恵、荒木千津子、佐藤敦子、平田史子、大石達也、中村由紀子
<要旨> 大津市東部地域には外国人母子が多く居住しており、言語や生活習慣、文化や宗教等の違う環境での妊娠や出産、育児に不安を抱えている外国人母子も多い。令和 4 年度に瀬田すこやか相談所で母子健康手帳を交付した外国人妊婦への支援と、今後、必要と考える支援についてまとめ、報告した。	

タイトル	一般公衆浴場に求められる公衆衛生、健康増進機能の現状と課題について
報告学会名	第 54 回滋賀県公衆衛生学会
発表者名 (ポスター発表)	衛生課 ○池永康子、藤川美知、石田和久、折目朋子、丸山政良
<要旨> 市内一般公衆浴場事業者及び市内一般公衆浴場の利用者を対象にアンケート調査を行い、浴場に求められる公衆衛生上の機能や健康増進機能に係る現状と課題について検討したので、その結果を報告した。	

タイトル	LC/MS による無承認無許可医薬品一斉分析法の検討
報告学会名	第 54 回滋賀県公衆衛生学会
発表者名 (ポスター発表)	衛生課 ○森井慎哉、竹田恵美
<要旨> 無承認無許可医薬品に係る 16 成分について、LC/MS による一斉分析法を検討した。 また、健康食品 4 種類（強壮系 2 種、痩身系 2 種）を用いた添加回収試験を行ったため、その結果について報告した。	

タイトル	民間企業との連携によるがん対策推進の取組について（第1報） ～小規模事業所を対象とした実態調査から見えたこと～
報告学会名	第54回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	健康推進課 ○武田恵、中村瑞枝、大泉聡志、藤本亜由美、白須誠義 大津市保健所 須佐美雅幸、中村由紀子
<要旨> 本市では、平成29年度に大津市がん対策推進基本計画を策定し、がん対策を推進している。令和3年度に実施した計画の中間評価において、がん検診の受診率向上と、「働く世代へのがん対策の推進」の中で特に小規模事業所におけるがん対策が課題に挙げたことから、令和4年度に小規模事業所を対象としたがん対策推進のモデル事業を実施した。このうち、大津市内にある従業員数10～49人の2,000事業所に対しアンケート形式による実態調査の結果について報告した。	

タイトル	民間企業との連携によるがん対策推進の取組について（第2報） ～専門職によるがん対策推進事業を実施して～
報告学会名	第54回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	健康推進課 ○中村瑞枝、武田恵、大泉聡志、藤本亜由美、白須誠義 大津市保健所 須佐美雅幸、中村由紀子
<要旨> 本市では、大津市がん対策推進基本計画を策定し、「働く世代へのがん対策の充実」を基本目標の1つとしている。産業保健スタッフの配置が義務付けられていない小規模事業所におけるがん対策を充実させ就労環境整備を推進するため、保健師によるがん検診受診率向上及び仕事と治療の両立支援の実現に向けた相談支援と、社会保険労務士による就業規則の見直しを軸とした相談支援をモデル事業として実施した結果について報告した。	

タイトル	大津市における難病患者の災害時個別避難計画作成の取組について
報告学会名	第54回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	保健予防課 ○千代のぞみ、石橋みゆき、西出麻依子、中西遼、住田亜由美、大下彩子、平田浩二、金本正彦、松浦康之、中村由紀子
<要旨> 本市では、令和4年度から危機・防災対策課に個別避難計画作成推進室を設置し、大津市保健所を含めた関係各課に兼務職員を配置、連携して個別避難計画作成に係る取組を進めている。大津市保健所が難病患者の個別避難計画作成に取り組み、事例を積み上げることで見えてきたことについて報告した。	

タイトル	結核ハイリスク集団への対応について
報告学会名	第54回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	保健予防課 ○遠藤千恵、落合沙織、木村洋彰、池田守紀栄、山田由香里、平田浩二、金本正彦、松浦康之、中村由紀子
<要旨> 10年間で3事例の結核患者が発生した事業所の社員寮に対し、感染者の発見や感染拡大の防止を目的として、疫学調査・接触者健診・受診やDOTSの支援・関係機関との連携を行い、治療を開始した患者全員が治療を完遂できたことを報告した。	

タイトル	水痘ワクチン接種歴と接種勧奨 ～市内小学校における水痘集団発生の経験から～
報告学会名	第 54 回滋賀県公衆衛生学会
発表者名	保健予防課 ○石原佑花、新矢稜河、渡邊隆太郎、山田由香里、白井洋成、平田浩二、金本正彦、松浦康之、中村由紀子
<要旨> 水痘ワクチンは、平成 26 年 10 月から定期接種に加わり、2 回の定期接種の機会があった学年の最年長は令和 5 年 10 月時点で小学 5 年生になっている。しかし、市内小学校では令和 4 年度に 1 件、令和 5 年度に 1 件、水痘集団感染事例が発生している。このことから、市内の年少児から小学 6 年生の水痘ワクチンの接種率を算出し、その結果から接種勧奨の強化を図ったので報告した。	

タイトル	大津市子ども発達相談センターを利用した中学生に関する調査
報告学会名	第 72 回近畿医師会連合学校医研究協議会総会
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
<要旨> 子ども発達相談センターの利用児のうち、中学年代で初めて相談につながった子ども（全体の 5.3%）の実態を把握することを目的に後方視的調査を行い、その結果を報告した。低年齢でセンターにつながり中学年代も来所相談を受けた子どもに比べて、相談時期が遅い（中 2、中 3 が多い）、本人が来談しない、二次障害の割合が高いことが把握された。思春期における「こころの健康」「支援につながる力」といった観点からも、低年齢からの相談開始は重要である。	

【講演等報告】

タイトル	がん検診の未来は地域のニーズから！
講演会・研修会名	日本消化器がん検診学会近畿地方会 医師研修会&放射線研修会
発表者名	大津市保健所 中村由紀子
対象者及び参加人数	医師、診療放射線技師等
年月日	令和 5 年 8 月 26 日
主催者	日本消化器がん検診学会近畿支部
<要旨> 令和 5 年度を始期とする第 4 期がん対策推進基本計画において「がん検診受診率」の目標値が 60%に引き上げられ、対策型がん検診の企画・運営に一層の工夫が求められることになった。行政及び関連団体が連携して対策型がん検診を推進できるよう、対策型がん検診の企画・実施・精度管理等のマネジメントについてお話した。	

タイトル	大津市における精神保健福祉に関する早期介入・支援事業の取組
講演会・研修会名	第 47 回全国精神保健福祉業務研修会 in 滋賀
発表者名	保健予防課 杉山更紗
対象者及び参加人数	全国精神保健相談員会会員等 50 名
年月日	令和 6 年 2 月 4 日
主催者	全国精神保健福祉相談員会
<要旨> 令和 4 年度から保健予防課に専任の支援員（精神保健福祉士・看護師・作業療法士）による早期介入支援チーム「かけはし」を設置し、従来の方法では相談関係を築くことが困難な未受診や受診中断の方への支援を開始した。保健所にアウトリーチ専門チームを設置する取組は全国的にも珍しく、支援内容を支援員と事業担当者で振り返り、分析から考察した事業の効果を中心に発表した。	

タイトル	子どもの発達障害について
講演会・研修会名	令和 5 年度大津保護司会中部地域会・更生保護女性会研修
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
対象者及び参加人数	保護司 50 人
年月日	令和 6 年 2 月 5 日
主催者	大津保護司会中部地域会・更生保護女性会
<要旨> 発達障害（未診断を含む）や診断域下の特性を持つ児者が周囲に適切に理解されず、必要な精神発達課題を習得できないまま、関係性の問題を抱える経過のなかで、非行を含む二次障害を呈することがある。そのため、保護司を対象に、発達障害や二次障害についての基礎的知識、発達課題を持つ子どもが精神的に健やかに育つために必要な要素（受容支持的な関わりと環境）を中心に講義した。	

タイトル	発達障害と思春期
講演会・研修会名	令和 5 年度公益社団法人大津市医師会発達障害児支援研修会
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
対象者及び参加人数	10 人
年月日	令和 6 年 3 月 9 日
主催者	公益社団法人大津市医師会
<要旨> 発達障害を持つ子どもの思春期は、発達特性特有のストレスと、思春期の葛藤が重なり、二次障害（心身症や精神症状、行動上の問題等）が生じやすい。診療では、発達特性及び乳幼児期に始まる精神発達課題の獲得状況、思春期心性、二次障害等について判断し、症状や行動の背景にある子どもの「思い、願い」も踏まえて総合的にアセスメントしたうえで、精神的成長を促す関わりや環境につなぐ役割が求められる。	

タイトル	建築物における衛生的環境の確保に関する事業の登録に係る実績報告について すごろくを用いた食品衛生の啓発及び食育の推進について 自動車営業及び特定簡易営業の新規申請リーフレットの作成について
講演会・研修会名	第 43 回生活衛生業務研修会
発表者名	衛生課 石田和久、井上聡美、長谷川絃子、林実茄
対象者及び参加人数	大津市及び滋賀県職員 30 名
年月日	令和 6 年 3 月 13 日
主催者	大津市、滋賀県
<要旨> 食品衛生、衛生営業、水道及び動物愛護にかかわる生活衛生関係職員が相互の研鑽を行い、最新の知見並びに監視指導技術を習得し、職員の知識と資質を向上させ、もって今後の生活衛生行政の進展に寄与することを目的に、業務実績等について報告した。	

タイトル	大津市肝炎ウイルス検診の現状
講演会・研修会名	大津市医師会学術講演会
発表者名	健康推進課 武田恵
対象者及び参加人数	大津市医師会会員 約 50 人
年月日	令和 6 年 3 月 30 日
主催者	公益社団法人大津市医師会
<要旨> 本市が取り組む肝炎対策のうち、肝炎ウイルス検診事業について、これまでの運用の経過、検診の受診状況、陽性者のフォローアップ、受診率向上のための取組等を報告した。	

【雑誌等への執筆】

タイトル	発達症をもつ児童・思春期の診療 —家族から情報をどう聞くべきか?—
書籍名、出版社	「治療」8月号. 特集「発達症×慢性疾患」、南山堂 2023
出版日	令和 5 年 8 月
著者名（共著）	龍田直子
<要旨> 発達症を持つ子どもが心身症や精神的不調などをきたして、一般小児科や内科を受診することも少なくない。本雑誌は、若手医師やプライマリケア医が発達症を診療するうえで役立つ情報を具体的、実践的に掲載することを目的に企画されたものである。児童思春期のころや発達に係る診たてに必要な視点と診察における留意事項を記した。	